


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立赤木小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	第5学年 35名 第6学年 46名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (学級活動)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>東京2020を目指して頑張っているアスリートとの触れ合いや講話を通して「オリンピック・パラリンピック」について理解を深めるとともに、選手たちを心から応援しようとする心情を育てる。また、選手の努力する姿から、自分も目標に向かって頑張っていこうという意欲をもてるようにする。</p>
5 取組内容	<p>① オリンピアン（リオデジャネイロオリンピック競泳 200M バタフライ銀メダリスト 坂井 聖人 選手）のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳を始めたきっかけ ・ 競技を続けられた理由 ・ スランプに打ち勝つための努力 等 <div style="text-align: center;">  </div> <p>② 坂井選手に質問。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレッシャーに打ち勝つ方法 ・ モチベーションを維持するための方法 等



③ 坂井選手との水泳交流

- ・ コース別指導
- ・ 代表児童とのリレー対決
(代表児童VS坂井選手)
(代表児童VS坂井選手&校長先生)



6主な成果

- 雲の上の存在だと思っていたオリンピックが、自分たちと同じように悩んだり、苦しんだりしていることを知り、オリンピックをより身近な存在として感じる事ができた。東京2020を目指すオリンピックの話は、子どもたちの心に深く響いた。
- 児童からは「自分も、頑張ろうと思っても、ついやる気が起

	<p>きない時がある。坂井選手を見習って、具体的な目標をもつことでモチベーションを高めていきたい。」という感想が聞かれた。選手の努力する姿から、自分自身を見つめ直すことができた。</p> <p>○ 子どもたちは、間近で見るメダリストの泳ぎの速さと迫力に、圧倒されていた。子どもたちにとって、本物のオリンピック、本物のメダリストと触れ合う、貴重な機会となった。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○ 会場として使用した「郡山しんきん開成山プール」は、東京 2020 の水泳競技に出場するハンガリーチームの直前合宿地となっている。坂井選手との交流を行うことで、自分たちが市の水泳交歓会などで実際に泳いでいるプールが、オリンピックやメダリストにとって貴重な調整場所となっていることを実感できるようにした。オリンピックをより身近な物として感じさせるとともに、地元の施設に対する誇りを持てるようにした。</p> <p>○ 本校の校長は、学生時代に水泳（平泳ぎ）の有力な選手であり、現在も児童への水泳指導を積極的に行っている。代表児童と坂井選手とのリレー対決は、校長も加わったことで大いに盛り上がった。水泳という本校児童にとって身近な競技を通して、オリンピックというより大きな世界に親しみと敬意を持てるようにした。</p>
8 主な課題等	<p>○ 選手を講師として招く場合、どうしても単発のイベント的な事業になりがちである。事前、事後の指導を工夫したり、事業の目的を明確にしたりすることで、児童の変容につながるような事業に意図的に仕組んでいく必要がある。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○ 東京 2020 直前であることから、選手を講師として招くのではなく、競技体験や「I'm possible」を活用した学習を通して、オリンピック・パラリンピックに対する理解を深められるようにしていきたい。</p> <p>○ 大会終了後は、大会を支えた人々（大会ボランティア等）との交流などを通して、東京 2020 の意義や大会の残した財産などについてより深く考えられるようにしていきたい。</p>